

守谷市中期財政計画

<令和4年度～令和8年度>

【令和6年度ローリング版】

令和7年2月

守谷市

目 次

第1章 計画の基本的な考え方.....	1
1 計画策定の趣旨.....	1
2 計画の位置付け.....	1
3 計画の期間.....	1
4 計画の見直し.....	1
5 会計単位.....	1
第2章 令和7年度推計額と予算額との比較.....	2
1 歳入の比較.....	2
2 歳出の比較.....	5
第3章 財政収支見通しの比較.....	7
第4章 目標指標の達成状況.....	10

第1章 計画の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

「守谷市中期財政計画」は、「第三次守谷市総合計画」（計画期間：令和4年度から令和13年度）の期間における歳入の予測、各種計画と連携した歳出の見通し及び投資の結果としての将来負担を示すことで、総合計画を財政的視点で支えるものです。

財政計画は総合計画の実効性をより高めるものであり、計画的で持続可能な財政運営を行うための指針となるものです。

2 計画の位置付け

本計画は、「第三次守谷市総合計画前期基本計画」（計画期間：令和4年度から令和8年度）における収支見通しを示し、併せて実施予定事業の財源を裏付けるものです。

3 計画の期間

「第三次守谷市総合計画前期基本計画」の期間を踏まえ、本計画の期間は令和4年度から令和8年度までの5年間としますが、財政の将来推計としては向こう10年間（令和6年度は令和7年度から令和16年度）を対象に行います。

4 計画の見直し

本計画の実効性を高めるため、社会経済情勢の変化や各種計画の進捗状況等を踏まえ、数値について毎年度見直しを行い、第三次守谷市総合計画前期基本計画との整合性を図ります。

5 会計単位

対象会計は一般会計とし、歳入は目的（財源）別、歳出は性質別に推計しています。
また、各年度の当初予算額を推計値としています。

第2章 令和7年度推計額と予算額との比較

令和6年2月に見直した「守谷市中期財政計画【令和5年度ローリング版】」において推計した令和7年度推計額と、確定した令和7年度当初予算額を比較すると、令和7年度予算は、推計額と比較して31億円の増となりました（ふるさとづくり寄附金に係る歳入・歳出は除く）。

令和5年度ローリング版で推計した以上に人件費、扶助費、物件費等が増額になったことより、推計額からは大幅な増となっています。

1 歳入の比較

市税、譲与税・交付金、国・県支出金、繰入金が増、市債が減となりました。

（単位：百万円）

区 分／年 度		R5 年度推計	R7 年度予算	比較
歳入	一般財源	15,145	15,599	+454
	市税	12,224	12,427	+203
	譲与税・交付金	2,921	3,172	+251
	国・県支出金	7,597	8,014	+417
	市債	2,958	2,634	△324
	その他の収入	1,475	1,911	+436
	小 計	27,175	28,158	+983
	財政調整基金繰入金	1,414	2,688	+1,274
	公共公益施設整備基金繰入金	0	0	0
	ふるさとづくり基金繰入金	1,776	2,576	+800
	歳入合計	30,365	33,422	+3,057

【主な増減内容】

（1）市税

- ・課税実績を踏まえた所得割の増額見込による個人市民税の増（+0.7億円）
- ・宅地の増による固定資産税の増（+0.4億円）

（2）譲与税・交付金

- ・株式等譲渡所得割交付金の増（+0.6億円）
- ・地方消費税交付金の増（+1.0億円）
- ・普通交付税の増（+0.6億円）

(3) 国・県支出金

- ・障害者自立支援給付事業の増（国：+0.6億円、県：+0.3億円）
- ・子ども・子育て支援給付事業の増（国：+2.6億円、県：+1.0億円）
- ・国の補正予算を受けた予算化前倒しによる総合公園新設事業の減（△3.6億円）
- ・みずき野大日線整備事業の減（△1.1億円）
- ・事業期間の見直しによる新守谷駅周辺土地区画整理事業の減（△1.3億円）

(4) 市債

- ・国の補正予算を受けた予算化前倒しによる総合公園新設事業新設事業債の減（△4.6億円）
- ・みずき野大日線整備事業債の減（△1.4億円）
- ・事業期間の見直しによる新守谷駅周辺土地区画整理事業債の減（△2.8億円）
- ・松ヶ丘小学校体育館改修事業債の増（+1.1億円）
- ・大井沢小学校体育館改修事業債の増（+1.1億円）
- ・けやき台中学校校舎改修事業債の増（+2.0億円）
- ・北守谷公民館改修事業債の増（+1.6億円）
- ・中央図書館改修事業債の増（+1.5億円）
- ・臨時財政対策債の皆減（△0.8億円）

【市債残高の推計】

（単位：億円）

	R6 見込	R7 推計	R8 推計	R9 推計	R10 推計
R5 ローリング時	155.2	173.9	179.6	189.8	200.6
R6 見直し後	155.9	171.2	187.3	197.9	208.1

※残高は元金のみで利子は含んでいません。

現在の推計では、（計画期間外ではありますが）令和12年度に市債残高のピーク（215.9億円）を迎える見込みです。

推計時点と残高のピークを迎える時期は変わらないものの、物価高騰等を受けた事業費の増額により、残高自体は大きくなっています（R5ローリング比+1.6億円）。

(5) その他の収入

- ・新型コロナ定期接種ワクチン確保事業助成金の増（+0.6億円）
- ・事務の見直しに伴う社会保険被保険者負担金の新規計上による諸収入の増（+1.4億円）
- ・地方公共団体情報システム標準化補助金の増（+1.2億円）

(6) 繰入金

- ・財政調整基金繰入金の増（+12.7億円）
- ・重点事業の実施に伴うふるさとづくり基金繰入金の増（+8.0億円）

(主な事業)

DX推進事業(+2.9億円)、小中学校適正配置事業(+1.3億円)、総合公園新設事業(上下水道会計への一般会計負担分)(+2.0億円)、新守谷駅周辺土地区画整理事業(下水道会計への一般会計負担分)(+0.8億円)

2 歳出の比較

人件費、扶助費、物件費が増、普通建設事業費が減となりました。

(単位：百万円)

区 分／年 度		R5 年度推計	R7 年度予算	比較
歳出	義務的経費	13,354	15,433	+2,079
	人件費	4,432	4,963	+531
	扶助費	7,340	8,877	+1,537
	公債費	1,182	1,193	+11
	他会計・基金借入金返済	400	400	0
	物件費	5,983	6,840	+857
	その他の支出	5,655	5,991	+336
	普通建設事業費	5,373	5,158	△215
	歳出合計	30,365	33,422	+3,057

【主な増減愛用】

(1) 人件費

- ・給与改定等による職員給の増 (+2.0 億円)
- ・給与改定等による会計年度任用職員に係る報酬・手当の増 (+1.9 億円)

(2) 扶助費

- ・障害者自立支援給付事業の増 (+1.2 億円)
- ・医療費助成事業の増 (+0.2 億円)
- ・すこやか医療費助成事業の増 (+0.5 億円)
- ・子ども・子育て支援給付事業の減 (+4.6 億円)
- ・児童手当支給事業の増 (制度拡充) (+7.2 億円)
- ・生活保護事業の増 (+0.5 億円)

(3) 公債費

- ・借入予定の起債に対する金利上昇を見込んだ定時償還額の増

(4) 物件費

- ・推計時に見込んでいなかった事業の計上による増
(主な事業)
 小中学校適正配置事業 (過大規模校の解消) (+0.9 億円)
 (スクールバス、送迎ステーション、教室改修等)
- ・マイクロソフト Office ライセンス更新費用の増 (+0.8 億円)

- 児童クラブ運営事業の増（クラス数増）（+0.5 億円）
- 公園管理業務の増（+0.4 億円）
- 給食提供事業の増（賄材料費の高騰）（+1.3 億円）
- 御所ヶ丘中学校、けやき台中学校校舎改修事業に係る仮設校舎賃借料の増（+0.9 億円）
→財政計画の集計では普通建設事業費で計上（R7 予算上は物件費）
- 中学校 ICT 環境整備事業の増（タブレットの更新前倒し）（+2.1 億円）
- 地域部活動運営事業の減（△0.9 億円）

（5）その他の支出

- 道路補修事業の増〔維持補修費〕（+1.0 億円）
- 小学校施設維持管理事業の減〔維持補修費〕（△0.5 億円）
- 後期高齢者医療広域連合負担金の減〔補助費等〕（△0.5 億円）
- 公共下水道事業会計負担金（雨水処理維持管理負担金）の減〔補助費等〕
（新守谷駅周辺土地区画整理事業の計画年次変更）（△0.5 億円）
- 総合公園新設事業（上下水道会計への一般会計負担分）の増〔補助費等〕（+1.7 億円）
- 常総地方広域市町村圏事務組合負担金の増〔補助費等〕（+1.8 億円）

（6）普通建設事業費

- 道路新設改良事業の増（実施個所前倒し）（+1.2 億円）
- 橋梁長寿命化修繕事業の減（△1.0 億円）
- 総合公園新設事業の減（予算化前倒し）（△7.9 億円）
- 坂町清水線整備事業の増（+3.9 億円）、
- みずき野大日線整備事業の減（△1.8 億円）
- 事業期間の変更による新守谷駅周辺区画整理事業の減（△4.7 億円）
- 大井沢小学校屋内運動場改修事業の増（+1.8 億円）
- 松ヶ丘小学校屋内運動場改修事業の増（+1.8 億円）
- けやき台中学校校舎改修事業の増（+1.7 億円）
- 北守谷公民館改修事業の増（+1.4 億円）
- 中央図書館大規模改修事業の増（+2.5 億円）

第3章 財政収支見通しの比較

令和6年度中に新たに判明した増減要因に加え、最新の人口推計や令和7年度予算額を踏まえ、歳入・歳出及び収支の見通しをローリングしました。

【ローリング前】

(単位：百万円)

区分/年度		R3 予算	R4 予算	R5 予算	R6 予算	R7 推計	R8 推計
歳出	義務的経費	11,951	12,077	11,864	13,551	13,354	13,561
	人件費	3,999	4,058	4,234	4,406	4,432	4,447
	扶助費	6,570	6,682	6,734	7,453	7,340	7,544
	公債費	1,079	1,033	1,041	1,071	1,182	1,170
	関公費	303	304	135	21	0	0
	他会計・基金借入金返済	0	0	0	600	400	400
	物件費	5,650	5,073	6,599	6,295	5,983	6,347
	その他の支出	4,712	4,799	5,566	5,413	5,655	5,651
	普通建設事業費	5,653	4,366	3,816	3,729	5,373	3,181
	歳出合計 ①	27,966	26,315	28,124	28,988	30,365	28,740
歳入	一般財源	13,634	14,693	14,731	15,062	15,145	15,203
	市税	11,356	12,107	12,084	12,272	12,224	12,245
	譲与税・交付金	2,278	2,586	2,647	2,790	2,921	2,958
	国・県支出金	6,829	6,212	6,177	6,331	7,597	7,184
	市債	3,512	1,685	2,164	2,242	2,958	1,604
	その他の収入	1,199	1,238	1,404	1,518	1,475	1,475
	小計	25,174	23,828	24,476	25,153	27,175	25,466
	財政調整基金繰入金	1,205	927	1,556	1,673	1,414	1,394
	公共公益施設整備基金繰入金	140	109	126	0	0	0
	ふるさとづくり基金繰入金	1,150	1,451	1,966	2,162	1,776	1,880
歳入合計 ②	27,966	26,315	28,124	28,988	30,365	28,740	
収支(②-①)		0	0	0	0	0	0
財政調整基金残高(年度末)		3,587	4,084	4,541	4,353	4,130	4,062
公共公益施設整備基金残高		1,683	1,574	1,450	1,450	1,450	1,450

※赤字は確定値



【ローリング後】

(単位：百万円)

区分/年度		R3 予算	R4 予算	R5 予算	R6 予算	R7 予算	R8 推計
歳出	義務的経費	11,951	12,077	11,864	13,551	15,433	15,664
	人件費	3,999	4,058	4,234	4,406	4,963	4,953
	扶助費	6,570	6,682	6,734	7,453	8,877	9,114
	公債費	1,079	1,033	1,041	1,071	1,193	1,197
	関公費	303	304	135	21	0	0
	他会計・基金借入金返済	0	0	0	600	400	400
	物件費	5,650	5,073	6,599	6,295	6,840	6,087
	その他の支出	4,712	4,799	5,566	5,413	5,991	5,810
	普通建設事業費	5,653	4,366	3,816	3,729	5,158	5,649
	歳出合計 ①	27,966	26,315	28,124	28,988	33,422	33,210
歳入	一般財源	13,634	14,693	14,731	15,062	15,599	16,020
	市税	11,356	12,107	12,084	12,272	12,427	12,448
	譲与税・交付金	2,278	2,586	2,647	2,790	3,172	3,572
	国・県支出金	6,829	6,212	6,177	6,331	8,014	8,316
	市債	3,512	1,685	2,164	2,242	2,634	2,655
	その他の収入	1,199	1,238	1,404	1,518	1,911	1,680
	小計	25,174	23,828	24,476	25,153	28,158	28,671
	財政調整基金繰入金	1,205	927	1,556	1,673	2,688	2,501
	公共公益施設整備基金繰入金	140	109	126	0	0	0
	ふるさとづくり基金繰入金	1,150	1,451	1,966	2,162	2,576	2,038
	歳入合計 ②	27,966	26,315	28,124	28,988	33,422	33,210
収支(②-①)		0	0	0	0	0	0
財政調整基金残高(年度末)		3,587	4,084	4,541	5,269	4,314	3,499
公共公益施設整備基金残高		1,683	1,574	1,450	1,450	1,450	1,450

※赤字は確定値

令和6年度ローリング版では、これまでの実績や社会情勢等を踏まえ、令和7年度以降の人件費、物件費、扶助費の推計額を上方修正したため、令和7年度から令和8年度を合計した予算規模はローリングの前後で約75億円拡大しています。

このような状況下であっても、計画期間中における収支は均衡がとれ、財政計画で定めた目標指標も達成できる見込みにはなっています。

しかしながら、計画期間外に目を向けると、令和13年度～令和16年度にかけて、常総地方広域市町村圏事務組合負担金が大幅な増額になる見込みであり、その内容によっては、この期間に財源が不足する可能性が懸念されます。

さらに、増額要因になっている人件費、扶助費、物件費は、多くが経常経費として扱われる内容であり、後年度になるにつれて財政を悪化させる要因となる経費です。

財源を確保するためには、財政計画に掲げた収支改善に向けた取組に加え、近年大幅に増加しているこれら経常経費の抑制に、危機感を持って早急に取り組む必要があります。

（財政計画に掲げた収支改善に向けた取組）

- ✓ 多様な財源の確保、未利用市有地の利活用
- ✓ DXへの期待、事業（政策）の優先順位付け
- ✓ 大規模プロジェクトへのふるさとづくり寄附金の活用

第4章 目標指標の達成状況

(1) 財政調整基金残高

財政調整基金残高に係る目標指標
令和8年度末において、最低でも残高27億円の確保を目標とする。

【R5 ローリング時の推計値】

	R4 実績	R5 見込	R6 推計	R7 推計	R8 推計
財政調整基金残高	40.8 億円	45.4 億円	43.5 億円	41.3 億円	40.6 億円



【R6 ローリング後の推計値】

	R4 実績	R5 実績	R6 見込	R7 推計	R8 推計
財政調整基金残高	40.8 億円	45.4 億円	52.7 億円	43.1 億円	35.0 億円

令和5年度歳計剰余金の財政調整基金への積立額が見込みよりも多くなった（14.9億円→20.4億円）こと、令和6年度の個人市民税が定額減税の影響を受けながらも減額にならなかったことなどを受け、令和6年度末残高は大きく増額になる見込みです。

その影響を受け、令和7年度の繰入額が推計よりも増額になる見込みであっても、令和7年度末残高は増額になっています。

しかし、前述の歳出（特に経常経費）の伸びを受け、令和8年度残高末は目標値を達成しているものの、昨年度の推計より減額になっています。

(2) 公共公益施設整備基金残高

公共公益施設整備基金残高に係る目標指標
20年後に今後の更新費用を見据えた残高40億円を確保するため、令和8年度末において、最低でも残高10億円の確保を目標とする。

【R4 ローリング時の推計値】

	R4 実績	R5 見込	R6 推計	R7 推計	R8 推計
公共公益施設整備基金残高	15.7 億円	14.5 億円	14.5 億円	14.5 億円	14.5 億円



【R5 ローリング後の推計値】

	R4 実績	R5 実績	R6 見込	R7 推計	R8 推計
公共公益施設整備基金残高	15.7 億円	14.5 億円	14.5 億円	14.5 億円	14.5 億円

積立、繰入の予定を変更していないため、残高見込に変更はありません。

(3) 実質公債費比率

実質公債費比率に係る目標指標

毎年度、令和2年度の県内市平均6.5%以下を目標とする。

【実績値】

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
実質公債費比率	4.2%	4.5%	4.4%

実質公債費比率は決算額に基づいて算出するため、令和6年度の実績値は現時点では未確定です。現在最新の実績値である令和5年度の比率は、4.4%（3箇年平均）となりました。